

# せとやきっす プレミアム 検定

- 下の文章を読んで□に答えを書いてください。(ひらがな可)  
※同じ番号には同じ答えが入ります。

藤四郎についての問題です。

藤四郎の本当の名前は、加藤四郎左衛門景正といい、今から810年ほど前の( ⑪ )時代に生まれました。( ⑫ )で陶器作りをはじめた藤四郎は、自分の作った陶器が中国の焼き物のようにうまく作れないことになやんでいました。

やがて、( ⑬ )(今の中国)へ行って焼き物の勉強をしようと決心した藤四郎は、( ⑭ )才のとき、道元という( ⑮ )のおともとして( ⑬ )にわたりました。やっとのことで( ⑬ )に着いた藤四郎は、6年間一生けんめい勉強して、ついに( ⑬ )のような陶器を作れるようになりました。

⑪	かまくら 鎌倉	⑫	きょうと 京都	⑬	そう 宋
⑭	20	⑮	ぼう お坊さん	(P80)	

加藤民吉についての問題です。

加藤民吉は今から240年ぐらい前の江戸時代の中ごろに、瀬戸村で生まれました。このころ、「磁器」とよばれる焼き物が焼かれるようになり、瀬戸の「陶器」が売れなくなっていました。

民吉は、( ⑯ )なので家をつぐことができませんでしたから、( ⑰ )で農業をしていました。そのとき( ⑱ )の津金文左衛門が民吉に磁器をつくるようにすすめました。文左衛門の協力を受けて民吉は焼き物を始めました。いろいろためしてみましたが、どうしてもうまく「磁器」を焼くことができませんでした。

そこで瀬戸村の人々は( ⑲ )の磁器の作り方を調べるために民吉を( ⑲ )へ行かせることにしました。ちょうど、( ⑲ )の天草(熊本県)の寺に、菱野村の(今の幡山中学校の近く)出身の( ⑳ )という和尚さんがいたので、その人をたよって( ⑲ )へでかけました。

⑯	じなん 次男	⑰	なごや 名古屋	⑱	やくにん 役人
⑲	きゅうしゅう 九州	⑳	てんちゅう 天中	(P82)	

# せとやきっす プレミアム 検定

## 注意事項

- 問題は1～20まであります。
- 答えは黒えんぴつか黒ボールペンで。  
決められた欄に記入してください。
- 携帯電話などの電源は必ず切ってください。
- 1問5点で100点満点です。
- 70点以上を合格とします。



じゅけんばんごう 受験番号	がっこうめい 学校名	がくねん 学年	なまえ 名前
		年	

実施日：令和5年11月23日(木・祝)

瀬戸商工会議所

問題は20問です。答えは□のなかに書いてください。(ひらがな可)

例 プレミアム

- 深川神社のとなりには瀬戸でやきものを始めた人をおまつりする( ① )神社もたてられています。

① すえひこ 陶彦 (P11)

- 焼き物の原料となっている( ② )は、瀬戸の山でとれます。

② ねん土 (P57)

- ゆうやくは、焼き物をつくる時、ねん土などの表面にかけるとろのようなもので、高い温度で焼くと、表面にうすい( ③ )のようなまかくができて光ります。

③ ガラス (P57)

- 焼き物の工場では、品物がひびわってしまうことをさけるために、箱をビニールでおおったり、水をふくませた( ④ )をしいたり、かぶせたりしています。

④ ぬの 布 (P59)

- 陶祖碑は陶祖公園(瀬戸公園)にある、藤四郎のことを書いた六角形の( ⑤ )の柱(国内最大)です。

⑤ どうき 陶器 (P80)

- 毎年4月に開かれる藤四郎に感謝をするおまつりを「( ⑥ )」といいます。

⑥ せと陶祖まつり (P81)

- 瀬戸では、『赤津焼』と『瀬戸染付焼』が国の「( ⑦ )」に指定されています。

⑦ でんとうてきこうげいひん 伝統的工芸品 (P86)

- 赤津焼の7色のゆうやくは、「御深井・黄瀬戸・( ⑧ )・織部・灰釉・志野・古瀬戸」です。

⑧ てつゆう 鉄釉 (P87)

- 本焼きは、ねん土をかんそうさせたあとに、約一日かけて、( ⑨ )度ぐらいの温度で焼成することをいいます。

⑨ 1200 (P88)

- 昔、工場からとけて流れ出したねん土で、川が( ⑩ )くにござっていました。

⑩ 白 (P91)